

◆場所：近隣センターこもれび 1Fロビー

◆日時：5月13日（午後の部 14：45～16：30）

◆出演：高野山小学校合唱部、我孫子中学校合唱部、

我孫子中学校吹奏楽部

◆主催：こもれびまちづくり協議会



こもれび ロビー コンサート

午後の部

プログラム

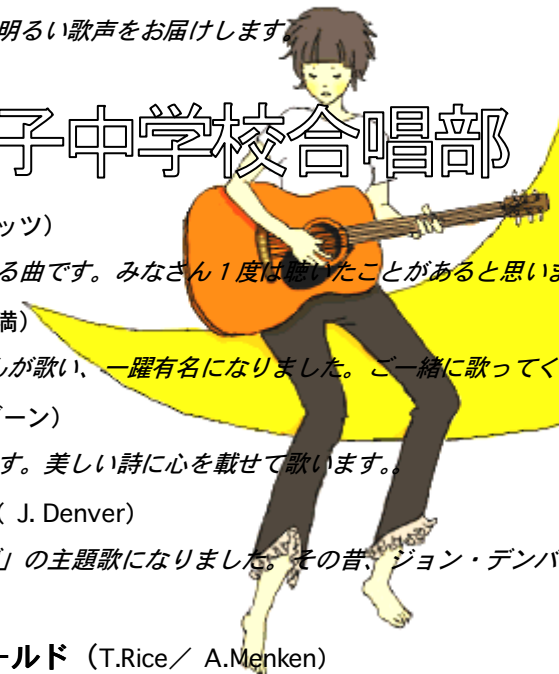
プログラムノート

高野山小学校合唱部

- 1 **春が来たら**（児童合唱のための組曲 富士山 から） 峯 陽・詞／小林秀雄・作曲
春・夏・秋・冬、富士山の美しい四季を歌います。
- 2 **グリンピースのうた**
（無伴奏児童合唱曲集 グリンピースのうた から） 宮田滋子・詞／木下牧子・曲
食べようとしてもお皿の上をコロコロとにげてしまうグリンピース。とてもおもしろい曲です。
- 3 **おやすみ森の小鳥たち** M・エミネスク・詞 後藤田純生・訳／T・フロンドール・曲
ルーマニアの曲です。静かな森ときれいな泉。そこでねむる小鳥たち。こもれびロビーコンサートのために選びました。
- 4 **新しい世界へ** 名和田俊二・詞／曲
高野山小合唱部の元気で明るい歌声をお届けします。

我孫子中学校合唱部

- 1 **空も飛べるはず**（スピッツ）
幅広い年代で知られている曲です。みなさん1度は聞いたことがあると思います。
- 2 **千の風になって**（新井満）
紅白歌合戦で秋川雅史さんが歌い、一躍有名になりました。一緒に歌ってください。
- 3 **歌の翼に**（メンデルスゾーン）
メンデルスゾーンの歌曲です。美しい詩に心を載せて歌います。
- 4 **カントリー・ロード**（J. Denver）
ジブリ作品「耳をすませば」の主題歌になりました。その昔、ジョン・デンバーが歌った名曲です。
- 5 **ホール・ニュー・ワールド**（T.Rice／ A.Menken）
ディズニー映画「アラジン」の挿入歌です。今日は原詩（英語）で歌います。



我孫子中学校吹奏楽部

- 1 クラリネット四重奏 **パントマイム** (W.A.モーツァルト)
パントマイムというのはイタリア生まれの無言劇。母のお腹にいた時からいっばい音楽を聴いて育ったモーツァルトでアンサンブル初挑戦の2年クラリネットチームです。
- 2 フルート四重奏 **歌劇「フィガロの結婚」序曲** (W.A.モーツァルト)
序曲はオペラの幕が上がる前に演奏されて、物語のストーリーや舞台の華やかさが想像されます。フルオーケストラの曲ですが、今日は3年生フルート4本で挑戦します。
- 3 オーボエ・ファゴット四重奏 **踊る人形** (ポルディーニ)
ハンガリーの作曲家ポルディーニ。クライスラーの編曲でヴァイオリンの名曲として知られるこの曲だけで有名です。オーボエ2本とファゴット2本による演奏です。
- 4 ホルン四重奏 **「アルルの女」第2組曲より「間奏曲」** (G.ビゼー)
3/24に我孫子市民会館で天王台あおぞらバンドが演奏した名曲です。今日はホルン4本だけで演奏します。ホルンの管は長いので高い音から低い音まで出るので。
- 5 チューバ&ピアノ **イエスタデイ** (J.レノン)
チューバの新鋭・D. YがR. Sのピアノとともにビートルズの名曲を歌います。
- 6 金管五重奏 **亜麻色の髪の乙女** (C.ドビュッシー)
ピアノの名曲としておなじみです。遠くからせせらぎの音が聞こえてくるような静けさと優しさに包まれた音楽を金管セクション5名でどこまで表現できますか…。
- 7 サックス三重奏 **バロックふうなフーガ** (H.ジー)
バロックの時代にはまだサキソフォンという楽器が誕生していません。でも、こんなにバロック音楽らしい作品を現代の作曲家が書いてしまうのです。2年生3名による演奏です。
- 8 サックス四重奏 **ブーレ** (J.S.バッハ)
こちらは音楽の神さまバッハが書いた、本物のバロック音楽です。もともとはチェンバロのために書かれた曲だと思います。さきほどの2年生2名に3年生2名のカルテットでおとどけます。
- 9 金管四重奏 **アイルランドの古い歌** (A.オストリン)
演奏するまでまったく知らなかった5つの歌ですが、アイルランドの歌ってどうしても私たちの郷愁をそそのののでしょうかね。金管4本で歌うアイリッシュです。

- 10 クラリネット二重奏&ピアノ **クラリネットポルカ** (ポーランド民謡)
とても楽しいポルカです。原曲はポーランドに古くから伝わるメロディーで、今もポーランド民謡としてたくさんの人に愛されているそうです。
- 11 クラリネット二重奏&ピアノ **ユーモレスク** (A.ドヴォルザーク)
ドヴォルザークがアメリカに帰国して別荘で過ごした時にかかれました。人々は悲しい歌詞を付けたり、陽気な歌にしたりしてこの曲を楽しんでいたそうです。
- 12 クラリネット六重奏 **弦楽五重奏曲ト短調 K.516 より第1楽章** (W.A.モーツァルト)
弦楽五重奏曲ト短調 K.516 その名の通り、モーツァルトの弦楽五重奏をクラリネット版です。繰り返されながらどんどん発展してゆくメロディーは1度聴いたら耳から離れない、とても強く心に残ります。昨年12/23に千葉県文化会館大ホール(アンサンブルコンテスト千葉県大会)で演奏してきた3年生クラリネットセクションのメンバーが再演します。
- 13 サックス四重奏 **サックス四重奏曲 op.53 より第1楽章** (J.サンジュレー)
サキソフォン四重奏のために書かれたオリジナルです。カルテットメンバーはこの曲を通して音楽の豊かな表現や細かいニュアンスを学びました。
- 14 サックス四重奏 **スラブ舞曲 op.72-2** (A.ドヴォルザーク)
元はピアノデュエットのために書かれたものでした。ポーランドのマズルカのスタイルで書かれたこの曲は、切ないメロディーがとても印象的です。同じく3年生カルテットで演奏します。
- 15 サックス四重奏 **セヴィリア** (I.アルベニス)
セヴィリアとはスペイン南部アンダルシアにある町の名です。歌劇カルメンの舞台になったタバコ工場でも知られています。祭りの日の夕暮れ時に、町の真ん中にある大聖堂前の広場に集う人々が、にぎやかに歌い踊る姿が思い浮かぶ、スペイン情緒の美しさ。中間部のソプラノサックス・ソロはスペインの光と陰を見事に歌い上げます。我孫子中バンド随一のアンサンブルチーム十八番です。
- 16 ユーフォニアム・チューバ四重奏 **ポップ組曲** (A.フラッケンポール)
「ロック」「リフレイン」「ラグ」の3曲からなる組曲で、どれも美しさと楽しさを備えたステキな曲です。去年も演奏しましたが、メンバーが世代交代して演奏もリニューアルしました。先輩！聴いてください。
- 17 ユーフォニアム・チューバ四重奏 **ピンクパンサー** (H.マンシーニ)
今日のコンサート全体を締めくくるアンコールとして、トリを務めるのはユーフォニアム・チューバカルテットのSneakyなピンクパンサーです。